



令和2年5月12日

各 位

会社名：フクビ化学工業株式会社  
代表者名：代表取締役社長 八木 誠一郎  
(コード：7871 東証・名証第2部)  
問合せ先：取締役経営戦略本部長 豊嶋 雅子  
(TEL：0776-38-8071)  
(広報・IR推進室長 久保 茂樹)  
(TEL：0776-38-8415)

## 中期経営計画「FUKUVI NEXT (2020～2022年度)」について

この度、フクビ化学工業株式会社は、2020年度から2022年度までの3ヶ年を対象期間とし、フクビグループ第6次中期経営計画「FUKUVI NEXT」を策定しました。

### 1. 2020年度-2022年度 中期経営計画「FUKUVI NEXT」

#### 1-1 第6次中期経営計画 策定の概要

フクビグループが軸足を置く住宅市場は、少子高齢化に起因する人口減少に伴い、国内においては住宅着工数の減少傾向が続くものと予測され、また世界経済においても先行きの不透明さが増しています。このような環境の下、私たちは100年企業となるべく、これまでの部材メーカーから「暮らしを変える Creators」へ、一步先をいく「安心」と「驚き」の価値を提供する創造者集団となることを「10年後のありたい姿」と定め、以下3つの挑戦を掲げました。

- ① 新たな分野に積極的に挑戦する
- ② 徹底的に差別化を図り、高収益化に挑戦する
- ③ 社会的価値の創造により、持続的な企業価値向上に挑戦する

フクビグループはこれらの挑戦により、2030年に向けた社会課題の解決に貢献し、継続的な事業の拡大と高収益を実現します。第6次中期経営計画スローガン「FUKUVI NEXT」には、私たちが次に何をするのか、ステークホルダーの皆様の想像を掻き立て、期待に応えるべく、新たな価値創造に挑戦するという意味を込めました。

#### 1-2 グループ基本方針

1-1に示す3つの挑戦を実行するためのグループ基本方針は、以下の3つです。

1. 成長分野への積極展開  
新規事業、グローバル事業、既存事業における新規分野を成長分野と定め、積極的な新技術領域への挑戦、新分野売上高比率の向上、グローバルビジネスの加速化を行う。
2. 収益構造の改革推進による利益の創造  
構造変革のスピードアップ、バリューチェーンによる高収益化の実現、合理化、効率化の推進を行う。
3. 挑戦と変革を実現する経営基盤の確立  
更なる人材基盤の強靱化、確固たるグループ経営の確立、ESG経営の実践を行う。

## 2. セグメント別戦略

第6次中期経営計画のグループ基本方針に則り、サステナビリティの観点から、フクビグループが事業を通じて社会課題の解決に向けて貢献できる、各セグメント戦略を下表に示します。

私たちは、事業の成長とサステナビリティの追求の両立を目指します。

|      | 1. 成長分野への積極展開   | 2. 収益構造の改革推進による利益の創造   | 3. 挑戦と変革を実現する経営基盤の確立  |
|------|---|--|---|
|      | ・新たな技術の創造と新規事業の拡大（M&Aを含む）・グループシナジーの最大化  |  |   |
| 建築資材 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①米国・ASEAN地域での建材ビジネスの確立</li> <li>②成長分野(非住宅・リフォーム)での市場占有率の向上</li> <li>③新たな市場への進出(製品展開)</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>①原価低減推進(バリューチェーンを通じた顧客価値の最大化)</li> <li>②事業ポートフォリオの再構築(成長分野への経営資源のシフト)</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>①挑戦を後押しする人材育成、人事制度の構築</li> <li>②実行スピードの向上を実現する組織体制、推進体制の構築</li> <li>③10年後を見据えた社会課題の解決に向けた取り組み推進</li> </ul> |
| 産業資材 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①グローバル市場での事業拡大(グローバルマーケティング強化)</li> <li>②注力分野(モビリティ分野、インフラなど)での事業拡大</li> <li>③成長分野への経営資源シフト</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>③省人化、合理化推進(IoT、FA機器の積極的活用)</li> <li>④金型技術の更なる向上(新規金型のQCD改善による受注競争力・生産性の向上)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>④ITインフラの最大活用(グループ経営基盤の整備)</li> <li>⑤ガバナンス機能の強化(コンプライアンス・リスクマネジメント機能、BCPの強化)</li> </ul>                     |

## 3. 投資方針

「10年後のありたい姿」を実現するために持続可能な成長を果たすべく、1-2に示す3つのグループ基本方針に則り、最適な経営資源の配分を行ってまいります。

以上